



初級コースでは、山や川などの英単語を学習しました

楽しく、A・B・C ステイブ先生の英会話教室

村教育委員会主催の英会話教室が昨年12月23日から2月24日までの間、自然休養村管理センターで開かれ、小学生から大人までが生の英語を学習しました。

教室は小学生対象の初級コースと中学生から一般を対象にした一般コースの2コースを設置。初級コースに8人、一般コースに6人が参加し、

計9回行われました。

講師は村外国語指導助手のステイブ・ジャングさん(35)が務め、簡単な日常会話、山や川などの英単語を話したり、英語の歌を聴いたりして楽しく学びました。

友達と一緒に参加していた嘉藤瑞紀さん(普小1年)は「英語は難しいけど楽しかったです」と話してしまいました。

「いつもありがとう」

鳥小で地域住民招き感謝の集い

鳥茂渡小学校(荒谷栄子校長、児童10人)は2月18日、同校体育館で感謝の集いを開きました。児童らはふるさと学習「とりも塾」で日ごろお世話になっている地域などの皆さんを招待し、手作り料理などでもてなしました。

感謝の集いには、児童と教職員、招待された地域住民ら約30人が参加。児童らは牛の世話やシイタケ栽培、村天然記念物チョウセンアカシジミの保護活動などさまざまな場面で学校活動に協力する地域



の方々に「これまで支え、応援してくださいありがとうございました」と一人ひとりに

手書きの感謝状をプレゼントしました。

今年で4回目の出店コーナーでは、はんとん姿の児童が手作りピザやチョコバナナなどで接待。プラスチックのおもちゃ作りコーナーも開設し、招待者の皆さんにキーホルダーをプレゼントしていま

し、招待者の皆さんにキーホルダーをプレゼントしていまし
同校4年の横田裕紀君は「チョコバナナのコーナーが売切れになって良かったです」と笑顔。招待者の皆さんは子どもたちのもてなしに終始感激していました。

自慢芸を次々と披露

太田名部公民館で楽しむ会



華やかな衣装で自慢芸が次々と披露されました

今年で4回目になる「おどりこ踊ったり みだりすて楽しむ会」は2月20日、太田名部公民館で行われ、観衆約100人が歌や踊りを楽しみました。

開会にあたり太田茂実地区会長が「いっばい声援して、最後まで楽しんでください」とあいさつ。園児や小学生、地区の方々が次々と歌や踊りなど自慢芸を披露しました。鶴鳥神楽や現役高校生の山崎ゆうかさん(田野畑村)の民謡や演歌も披露され、会に花を添えました。同地区の太田正三さん(74)「子どもから大人までいろんな芸が見られておもしろいなす」と話していました。